

矢作川探訪マップ

P 駐車場 — 散策ルート
🏠 トイレ I 案内看板



魚がそらすための魚道があります。春にはアユのそ上を見ることができます。

橋の上からダム全景と勘八峡の峡谷が一望できます。

平戸橋公園内の散策路を歩きます

矢作川の典型的な河辺林の姿をみることができます

このあたりはワンドの生物を守るため堤防の上を歩きましょう

ヤナギの林を探検してみは?

水辺を歩けばたくさんの水制がみえます

橋と高水敷をつなぐ階段

最大45,000人収容の球技専用競技場



豊田市民芸館 map-A
日本民芸運動の創始者・柳宗悦氏が東京駒場に創設した日本民芸館の一部を譲り受けて昭和56年にオープンしました。この民芸館を中心にさなげ古窯記念館や登り窯があります。



古岸水辺公園 map-B
古岸水辺公園は、矢作川の水があたるところにあるため、河岸の保護を目的として巨石の水制工があります。毎年5月に行われる「いかだ下り」のスタート地点にもなります。



石倉水辺公園 map-D
マダケとモウソウチクのトンネル。風が吹くととてもにぎやかです。



お釣土場水辺公園 map-F
以前は、うっそうとした竹ヤブでした。竹を間引いたら、竹ヤブに隠れて元気がなかったいろいろな植物が、いまではすっかり元気になりました。土場というのは川港のことを言い、ここには昔の船着場も残っています。



表洲水辺公園 map-G
砂で発達した洲に、成長したヤナギがたくさんある公園です。さらさらした砂の上を歩くと、とても気持ちいいです。



波岩水辺公園 map-E
大きな岩がいっぱいある公園です。石の上からみる矢作川や勘八峡の眺めは、最高です。



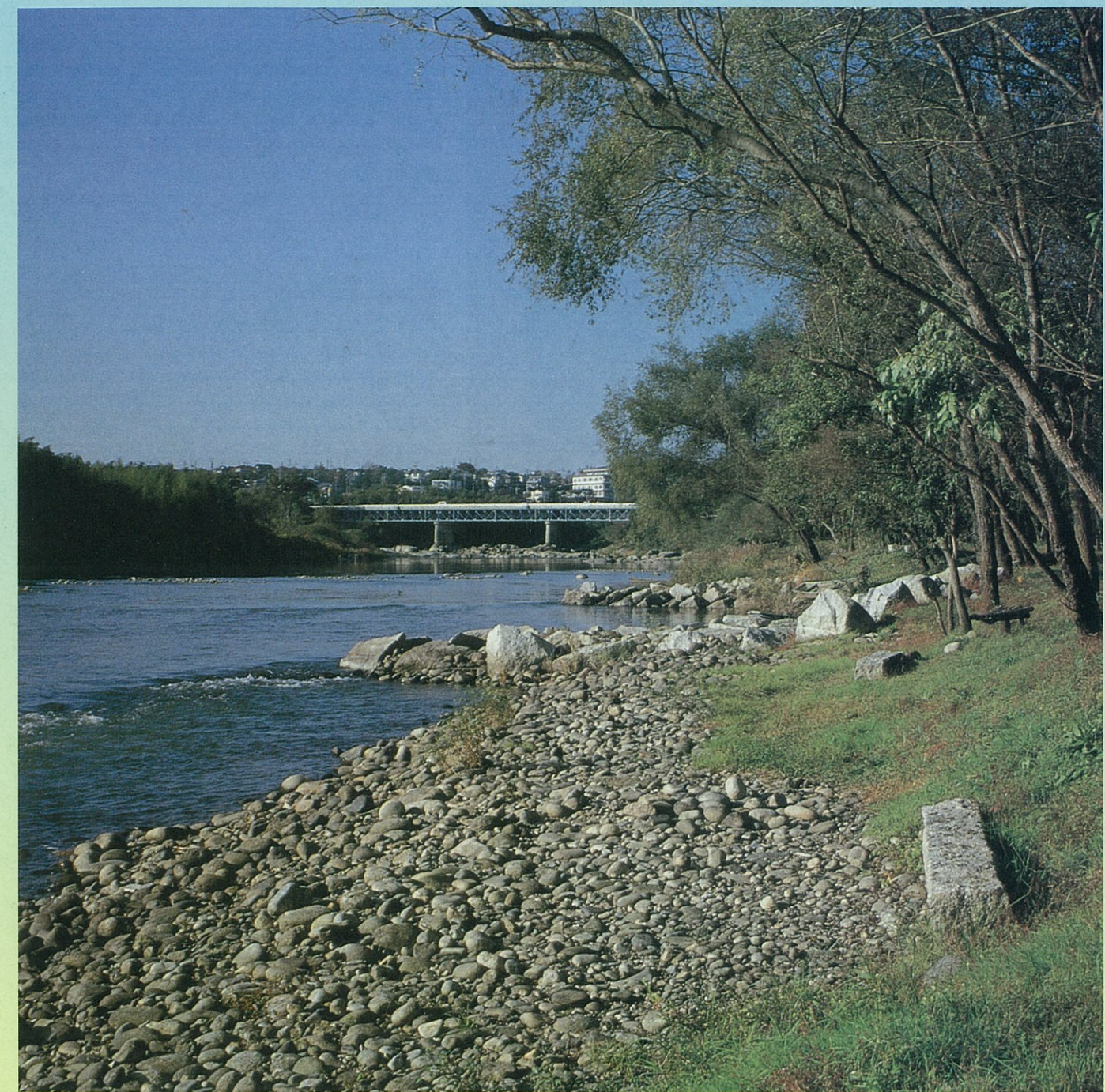
百々貯木場 map-C
百々貯木場は、舟運が盛んであった大正時代中頃～昭和初期の間に利用されていたものです。貯木場では、いかだを組んでさらに下流へ運ぶものと、製材するものとに仕分けされました。

矢作川水制工

Spur Dikes on the Yahagi River



Aichi Prefecture in Japan



愛知県豊田加茂建設事務所

Aichi Prefecture Toyota-Kamo Construction Office
〒471-0867 愛知県豊田市常盤町3丁目28番地 TEL(0565)35-1311

概要 Outline

自然環境に配慮した川づくり

治水事業を進めていく上では、人々の生命や生活を守るために洪水に対応できる強固な川づくりをすることが重要なテーマです。しかしながら同時に河川が本来有する豊かな自然環境と美しい風景は、かけがえのない財産であり、これを保全し後世に継承しようという動きが高まっています。

治水機能と自然環境との折り合いをいかにつけて、河川改修を進めていくのか、愛知県においてもさまざまな努力を重ねており、矢作川における水制工もその一つとして取組んだものです。

矢作川水制工

一級河川矢作川の平戸橋下流(河口から44km付近)は左岸側がわん曲した河川の水衝部にあたり、河岸の侵食が激しいため平常時の河岸保護を目的として、巨石による水制工及び玉石による低水護岸を施行しました。



この場所は豊田市街地にも比較的近い場所でありながら河畔林が生い茂り、自然環境豊かな水辺空間をつくり出して、アユ釣りにも利用されています。しかしながら河床に砂泥が堆積するなど自然環境の悪化が懸念されるようになり、自然石を使った低水護岸や、水制工を設置することで河岸を保護するとともに、流れに変化をもたせ、瀬と淵、空隙を有する多様な河川空間を創り出し、魚類や水生生物の生息に適した環境づくりを図りました。

水制工設置後は「古岸水辺公園」として人々の憩いの場となり散歩、釣り、水遊び、キャンプなどに利用されています。



▲矢作川「川会議」 Yahagi "River meeting"

Creating a River System with the Natural Environment in Mind

In the business of promoting flood control measures, the theme of creating strong river systems which can withstand floods and save human lives and property is an important one. However, at the same time, the idea that the lush natural environment and beautiful scenery that originally exists in a river system is an irreplaceable resource which should be passed on to future generations has also been gaining many supporters. The spur dikes on the Yahagi River represents a project on which we have worked very hard in Aichi Prefecture to reach a balance between flood control capabilities and environmental concerns while promoting river system improvement.

Spur Dikes on the Yahagi River

Downstream from the Hirato Bridge on the class-A Yahagi River (nearly 44 km from the river mouth), the left-hand bank meets the water colliding front of the curving river. Because the erosion is so severe, we have put into place a low water channel revetment using cobble stones as well as spur dikes made of rockfill with the object of creating a steady-state bank preservation system.

Despite this area's relatively close proximity to Toyota's downtown district it is a river front space rich in natural beauty, with wooded areas growing luxuriantly on the river bank levees, and "ayu" fishing in the river itself.

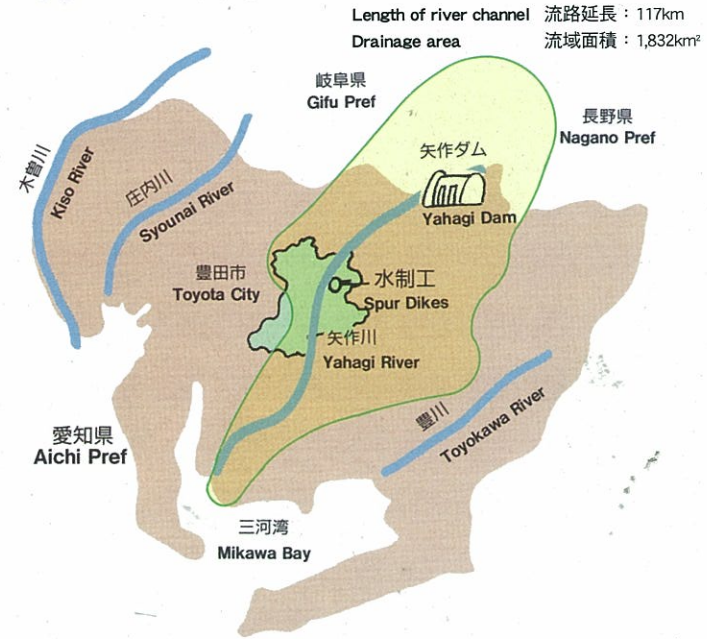
However, due to problems such as sludge deposits on the river bottom, it became feared that the natural environment was taking a turn for the worse. Therefore, by building low water channel revetments and spur dikes, we were able to protect the riverbanks while at the same time changing the flow of the river to create a diverse river front area ideal for the preservation of fish and other aquatic animals.

After construction of the spur dikes, this area became known as the "Fusso Riverside Park" and is presently used by people strolling, fishing, camping, and so on.



▲古岸水辺公園 Fusso Riverside Park

矢作川の概要 Overview of the Yahagi River



矢作川平戸橋下流(豊田市扶桑町)
この地点での計画流量Q=5,300m³/s(1/150年確率)
流速V=3.7m/s 河床勾配1/750

矢作川の自然 豊田市の淡水魚

矢作川の豊田市域でよく見られる魚はアユ、オイカワ、カワムツ、カマツカ、スゴモロコ、ニゴイ、ウグイ、カワヨシノボリなどで、天然記念物のネコギギも生息しています。また流域の池沼、小川などにいたウシモツゴやカワバタモロコはあまり姿を見かけなくなり、水系全体の環境、生態系への配慮が必要です。

矢作川は、木曾山脈南部に源を発し、美濃三河高原の渓谷を流れた後、豊田市付近から濃尾平野を南西に流れ、三河湾に注ぐ一級河川です。

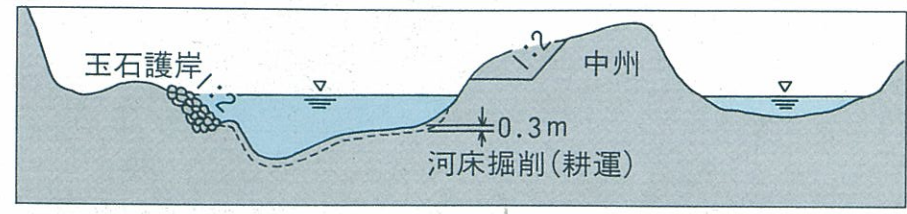
The Yahagi is a class-A river which originates in the southern region of the Kiso Mountain Range. After flowing through the valleys of the Mino-Mikawa High Plains, it runs from near Toyota, southwest along the Noubi Plain and empties into Mikawa Bay.



工事内容 Details Regarding Construction

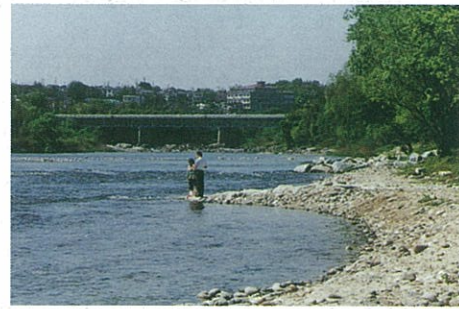
玉石による低水護岸 Low water channel revetments using cobble stones

左岸水衝部を保護するため中洲を削り取り、現地で発生した玉石を低水路河岸に置きました。自然石を空積みすることで水制工とともに、多様な空隙を有する水際を創出しています。



巨石による水制工 Spur dikes made of rockfill

直径50~150cmの巨石を組み合わせた水制工を約45mの間隔で配置し、流れに変化をもたせました。これにより河岸を保護し、さらに淀みや早瀬を形成することで、魚などが生息しやすい環境づくりを図っています。



現況河床形に合わせた河床掘削 Riverbed dredging conforming to the riverbed's present state

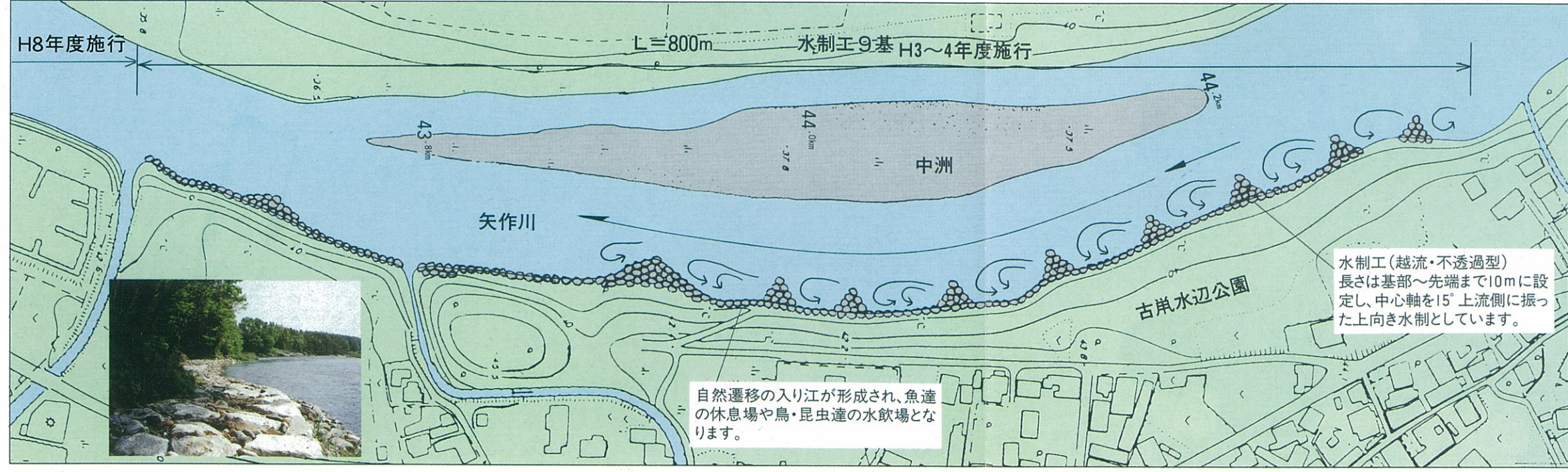
現況河床と同じ形で河床掘削を行い、瀬と淵を保全しました。ヘドロの付着した玉石は洗浄し、アユの餌となる藻類が付着しやすい状態にして、再度河床に戻しました。



平戸橋付近 航空写真 Near the Hirato Bridge (Aerial Photograph)



平面図 Plan



水制工(越流・不透過型)
長さは基部~先端まで10mに設定し、中心軸を15°上流側に振った上向き水制としています。

自然遷移の入り江が形成され、魚達の休息場や鳥・昆虫達の水飲場となります。

水制工 Spur Dikes on the Yahagi River

